

ソーシャルメディアと「家族の価値」 ——宗教者女性が支える米国草の根保守

佐藤清子

東京大学大学院人文社会系研究科助教（宗教学）

公開シンポジウム「分断化する社会の中で対話は可能か
——ポスト・ソーシャルメディア時代の社会構築」

2025年12月21日（日）

@立教大学池袋キャンパス11号館地下AB01教室

新語「Tradwife」の誕生

<https://dictionary.cambridge.org/dictionary/english/tradwife>

tradwife

noun [C] (also **trad wife**)

UK /ˈtræd.waɪf/ US /ˈtræd.waɪf/

plural **tradwives**

Add to word list

a married woman, especially one who posts on social media, who stays at home doing cooking, cleaning, etc. and has children that she takes care of. Tradwife is short for traditional wife:

- *Trad wives are not just traditional stay-at-home mothers, but social media influencers making money for content.*
- *Gen Z is watching a lot of tradwife content.*
- *Trad wives don't split the bill!*

ハナ・ニールマン (Hannah Neeleman)

- ▶ ‘tradwife’人気を牽引するインフルエンサー
- ▶ フォロワー数 Instagram 1040万人 (2025年9月)
- ▶ 2024年7月のインタビュー記事で生き立ちを語る<https://www.thetimes.com/magazines/the-sunday-times-magazine/article/meet-the-queen-of-the-trad-wives-and-her-eight-children-plfr50cgk>
 - ▶ モルモン教家庭で育つ
 - ▶ ビューティー・コンテストに出場 (記事発表時も継続)
 - ▶ ニューヨークの名門バレエスクールに入学
 - ▶ 在学中に結婚 (21) し出産。夫もモルモンで富豪の息子
 - ▶ 都会生活を捨て、夫婦でユタの牧場経営
 - ▶ Trad Wifeの生活をTikTokで配信、2021年ごろから人気インフルエンサーに
 - ▶ 記事発表時34歳、子供8人 (12、10、9、7、5、3、2、6か月)

「文化戦争」 ・ 「家族の価値」 ・ 宗教

- ▶ 1990年代ごろから保守とリベラルのあいだの「文化戦争」が語られるようになる。淵源は1960年代。現代に至るまで、保守的共和党支持者とリベラルな民主党支持者の分断が深刻化
- ▶ 保守の価値観
 - = 「伝統的」 家族と性別役割分担、男女二元論、プロライフ
 - = 「家族の価値 (family values) 」
 - = 反フェミニズム、反LGBTQ権利運動、反人工妊娠中絶
 - = 「聖書的 (biblical) 」

フィリス・シュラフリー (1924-2016) と 1970年代のSTOP ERA



ピュー・リサーチ・センター調査

<https://www.pewresearch.org/journalism/2025/06/10/the-political-gap-in-americans-news-sources/>

メディアと文化戦争

- ▶ 1960年 キリスト教放送局CBN創設（1966年ニュース番組700クラブ開始）
- ▶ 1996年 保守系メディアFOXチャンネルの登場
- ▶ 2007年 「極右」ネットウェブメディア、ブライバート・ニュースの登場
- ▶ 2012年 スティーブ・バノンがブライバート・ニュースの会長に就任
- ▶ 2016年 バノンがトランプの選挙に協力
- ▶ 2017年 バノンがホワイトハウスを去る
- ▶ 2022年 イーロン・マスクがtwitter（現X）を買収
- ▶ 2024年 選挙勝利後のトランプがマスクをDOGEトップに
- ▶ 2025年 マスクがDOGEを離れる

Sadie Robertson Huff

- ▶ 女性向け福音派団体Live Originalを主宰。
- ▶ フォロワー数 Instagram536万人（2025年9月）
 - ▶ 1997年生
 - ▶ 2012-2017年 リアリティ番組Duck DynastyでRobertson一家として有名に。芸能活動も行う。
 - ▶ 2014年 著書Live Originalがベストセラーに。その後も続けて著作を発表。団体Live Originalを開始。
 - ▶ 2019年 結婚。
 - ▶ 2025年現在 3児の母（4、2、0）

Erika Kirk

- ▶2025年に殺害されたターニングポイント・USAの代表、チャーリー・カーク氏の妻で現代表
- ▶福音派系のリバティ大学の大学院博士課程に在籍中（聖書学）。夫の殺害後、キリスト教徒として犯人を許すと発言。
- ▶2018年キリスト教的アパレルブランドを立ち上げ、オンライン販売。
- ▶2019年、キリスト教をテーマにしたポッドキャストを開始
- ▶2021年、カークと結婚、二児をもうける

小括

- ▶ アメリカにおけるメディアと文化の分断は、SNS時代以前に発生した長期的現象。SNSがそれを深化させてつつある？
- ▶ 宗教的かつ保守的女性たちによる「家族の価値」のSNS情報発信が人気を得ている。
- ▶ 「家族の価値」は保守派をこえ裾野広く支持される可能性をもつ。**だからこそ、そこから排除されるものに目を向けるべきではないか。**

関連拙稿・発表

- 「アメリカ合衆国におけるホームスクーリングと宗教の動向」日本宗教学会第82回学術大会発表、2023年9月9日。（要旨は『宗教研究』97巻別冊、2024年3月、299-300頁。 https://www.jpars.org/data/files/separate_volume/vol_97.pdf）
- 「アメリカ合衆国福音派のホームスクーリングとジェンダー」日本宗教学会第83回学術大会発表、2024年9月15日。（要旨は『宗教研究』98巻別冊、2025年3月、316-317頁。 https://www.jpars.org/data/files/separate_volume/vol_98.pdf）
- 佐藤清子「政教分離か「歴史」「伝統」としての宗教か——アメリカ合衆国の教育をめぐる攻防——」『現代宗教2025』2025年1月、77-103頁。 <https://www.iisr.jp/journal/journal2025/P077-P103.pdf>
- 佐藤清子「保守的キリスト教徒の文化と宗教映画・ドラマの新展開」『福音と世界』2026年1月号、2026年、10-21頁。

ありがとうございました。

本発表は以下の助成を受けています。

日本学術振興会科学研究費 若手研究 23K12020

「アメリカ合衆国の公共領域と宗教の研究 –宗教右派の教育戦略–」

<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-23K12020/>